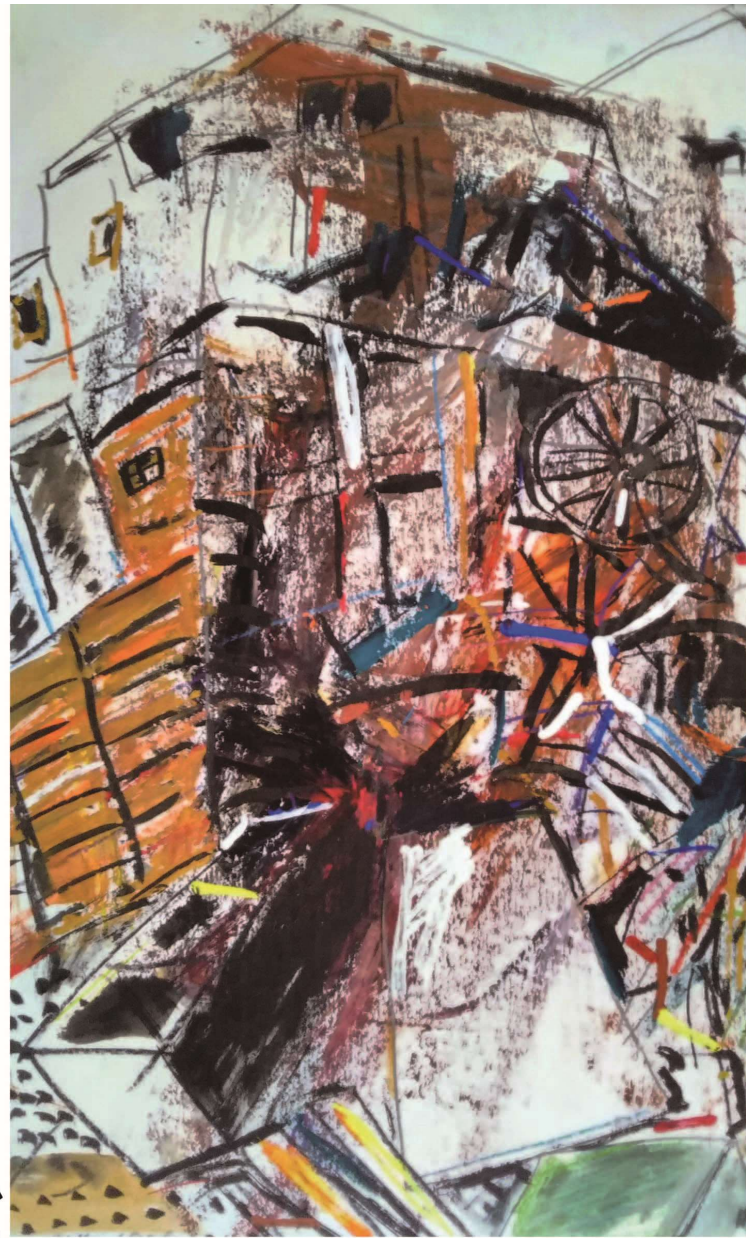




港都KOBEEで育まれた鬼才タカハシノブオと堀尾貞治の世界



令和2年
1月23日(木)~2月7日(金)

- 開館時間 9:00~17:00
- 休業日 土曜日・日曜日・祝日
- 入場料 無料
- 展示会場 長田区役所1階および7階区民ギャラリー
- 住所 〒653-8570 神戸市長田区北町3丁目4番地の3
- アクセス 神戸高速線・高速長田駅下車 3分
市営地下鉄長田(長田神社前)駅下車 5分



主催 長田区役所
 協力 神戸わたくし美術館
 問い合わせ先 長田区まちづくり課 078-579-2311(代表)

「自分の絵の中にしか自分は存在しない」と、まことを追い求め続けてきたタカハシノブオ。「あたりまえのこと」を主題に制作し続けた堀尾貞治。

神戸長田で情熱的に活動し続けた2人の画家の作品展。

タカハシノブオ

1914年 徳島県鳴門市生まれ。
 1932年 外国航路船員時代、航海中描いた絵を見た同乗の船医に画家になることを勧められる。
 1934年 神戸の洋画家・今井朝路に師事、須磨浦洋画研究所に学ぶ。
 1935年 今井の紹介で宝塚劇場の舞台美術助手として野島一郎の門下となる。
 1937年 中国中部、北満州に従軍。
 1939年 復員、宝塚劇場に復職。
 1941年 二度目の召集、フィリピン、マニラに従軍。
 1943年 復員後、結婚し九州で炭鉱夫となる。
 1945年 娘が誕生する。
 1947年 妻が死亡。娘と神戸市長田区に戻る。
 1949年 再び絵筆をとる。
 1950年 神戸大学学生会館などで数回個展開催。
 1953年 娘を亡き妻の妹夫婦に預け本格的に画業に取り組む。
 以降、エーグ画廊を中心に各所で個展。
 1960年 明市展に出品し優秀賞。
 1970年 NHKテレビドキュメンタリーで「港湾の画家」として出演。
 1988年 ネパール、バンコクに取材。
 1990年 脳梗塞で入院し退院後、明石愛老園に入園。
 1994年 享年80歳。

堀尾貞治

1939年 神戸市生まれ。
 戦後の前衛美術運動をリードした具体美術協会の元会員。1972年の解散まで参加。
 年間100近いイベントや展覧会を開催し、創作活動をつづけた。
 2018年 享年79歳。

